

もくじ

- ・ はつかねずみと ことりと
ソーセージ

はつかねずみと

ことりと

ソーセージ

げんさく： グリムどうわ

イラスト： ナナホシ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

むかし あるところに、『はつかねずみ』と『ことり』と『ソーセージ』が、いっしょに すんでいる いえがありました。さんには それぞれ ぶんたんして、じぶんの とくいなことをして せいかつしていました。

ことりは、そらをとんで もりで たきぎを ひろってくること。
はつかねずみは、なべに みずをくんで、ひを おこすこと。
ソーセージは、しょくじをつくり、さいごに ふっとうした なべのなかを ひとおよぎして、だしをとること。

こうした やくわりを しっかりと まもっていたので、さんには とてもなかよく、へいわに くらしていました。



あるひ、ことりが もりで
たきぎをひろっていると、
そこで ともだちの からすに であいました。

ことりが からすに、じぶんたちが さんにんで
なかよく くらしていることを はなすと。

「ばかだなあ。きみが いちばん
たいへんな しごとを しているじゃないか」
「ええ！ そんなことはないよ」
「ほかのふたりは、
きみより ずーっと らくしていると おもうぜ。
いまごろは、いえで おひるねでもしているさ」
「う～ん、そうかなあ・・・」

ことりは そのひ いちにち
たきぎをひろいながら、からすの いったことを
かんがえていました。

